

平成30年度第1回茨城県内4機関公共工事入札監視委員会議事概要

| | | |
|----------------------------|--|--|
| 開催日及び場所 | 平成30年11月9日(金) 筑波大学本部アネックス棟2階会議室4 | |
| 委員 | 委員長 堀越 智也(弁護士) 委員 小又 利幸(つくば市建設部次長) 委員 小森 幹夫(公認会計士) | |
| 審議対象期間 | 平成29年4月1日～平成30年3月31日 | |
| 抽出案件(合計) | 6件 | 備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。 「建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件」の審議については、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。 講評後に輪番により来年度の審議案件の抽出を小又委員に依頼した。 |
| 工事(小計) | 5件 | |
| 一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事) | 0件 | |
| 一般競争入札 (上記工事を除く) | 3件 | |
| 工事希望型競争入札 | 0件 | |
| 通常指名競争入札 | 0件 | |
| 随意契約 | 2件 | |
| 設計・コンサルティング業務(小計) | 1件 | |
| 簡易公募型プロポーザル方式(拡大) | 0件 | |
| 一般競争入札 | 0件 | |
| 随意契約 | 1件 | |
| 委員からの意見・質問、 それに対する回答等 | 意見・質問 | |
| | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| 委員会による意見の具申 又は勧告の内容 | なし | |

| 質 問 | 回 答 |
|--|---|
| <p>議事に先立ち、出席者の紹介、委員長の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀越智也委員を委員長に決定。 <p>1. 平成29年4月～平成30年3月に発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務について</p> <p>(1) 茨城県内4機関において発注した建設工事について (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>(2) 茨城県内4機関において発注した設計・コンサルティング業務について (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>2. 審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について (事務局より抽出経緯説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小森委員より、抽出にあたり契約の健全性の確保を念頭に随意契約の理由、一社応札、落札率の高低を勘案して抽出した旨説明がされた。 ・特になし <p>3. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p>(1) 一般競争入札</p> <p>【茨城大学：水戸地区体育館照明設備更新工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定価格に問題はなかったのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・積算に当たっては公表されている労務費により算出、材料費はメーカーから見積りを |

| | |
|--|---|
| <p>・労務費と材料費の比率はどのようになっているか。</p> <p>・今回は第二体育館ということだが、他の体育館の照明の更新はどのようになっているか。</p> <p>・第一体育館を飛ばして第二体育館から行った理由は。</p> <p>・予定価格で50%が材料費であると説明があったが160万円とすると、入札価格が160万円となっていることから直接工事費を下回っていることはないか。</p> <p>・材料費の大量購入での金額で、そのような金額構成ができたと考えてよいか</p> <p>(2)随意契約 【筑波大学: 大学会館Aスプリンクラーポンプ改修工事】</p> <p>・ポンプは修理か交換か。</p> <p>・修繕で対応できないくらいの故障であったのか。</p> <p>・故障が発覚したのはいつか。</p> | <p>徴取し、同種の製品の物価版など市場価格を調べ、査定率を決め算出している。</p> <p>・およそ材料費50:労務費25、諸経費25となっている。</p> <p>・平成28年度は、附属中学校を実施した。</p> <p>・第一体育館は規模が大きいため予算上の問題から、第二体育館から実施した。第一体育館も実施の方向で計画している。</p> <p>・業者提出の見積りでは、材料費と労務費を合わせて130万円位、経費が30万円位となっている。</p> <p>・そのように考える。</p> <p>・交換による更新を行った。</p> <p>・老朽化によるもので、更新が必要と判断した。</p> <p>・定期検査を行った平成28年12月には問題がなかったが、平成29年度に大学会館Aの耐震改修時に必要な圧力がないことが分かったため消防署に相談した。原因を調べた結果、ポンプの老朽化による不良であることが判明したため更新することとした。</p> |
|--|---|

| | |
|---|--|
| <p>・ポンプ交換の予定価格を算出する上で参考見積書は徴取しているのか。</p> <p>・見積り業者3者選定の理由は。</p> <p>(3)一般競争入札 【筑波大学：構内高圧変電設備改修工事（平成29年度）】</p> <p>・入札参加予定者に対し8分の4が辞退となっているが、規則上、辞退理由を捕捉することになっているのか。</p> <p>・一般的に電気の改修工事は入札価格にばらつきがでるものなのか。</p> <p>・最低制限価格は設けているか。</p> <p>・予定価格の直接工事費と経費の割合はどの程度か。</p> <p>(4)一般競争入札 【筑波技術大学：天久保地区防災設備等改修工事】</p> <p>・提案業者は2社だけなのか。また、防災設備と電気通信設備を分ければ参加業者は倍以上に増えるのか。</p> | <p>ポンプを更新するためメーカーに製作期間を確認したところ、入札手続きを行い契約業者決定後1.5月以上となることから消防署と相談し、一時的緊急対応を行った。</p> <p>・見積り業者から参考見積りを取っているわけではなく、ポンプメーカーからの見積りを取り積み上げにより予定価格を算出している。</p> <p>・緊急に対応する必要があるため、本学契約実績を考慮し選定した。</p> <p>・入札公告、参加意思から入札までの間に業者が判断することであって、規則上、調査することを定めていない。</p> <p>・電気工事については、ばらつきが出ることが多く、だいぶ安い傾向にある。</p> <p>・県、又は地方公共団体で定めているような最低制限価格の設定はしていない。</p> <p>・約3:1です。</p> <p>・提案のあったのは2社であった。防災設備に関しては2社だけになると思われる。Web調査では3社であった。電気通信設備である文字放送設備、3色灯に関しては10社程度が参加できると見込ん</p> |
|---|--|

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・辞退した業者の理由はフォローしたのか。 ・分けたとしても、同じ状況か。 ・防災設備と電気通信の金額の割合はどの程度か。 ・電気通信製品は特注ですか。 <p>(5) 随意契約 【高エネ研：日光実験棟等エレベーター設備主シーブ他取替工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4機関でエレベーター製造業者以外の業者が同様の工事を行った実績はあるか。 ・修繕と今回の工事は何が違うのか。 ・高落札率となる理由について説明していただきたい。 | <p>でいた。 結果、2社だけの申請であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札の競争参加資格に、「入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと」としているため、他の入札参加者との関係がグループ会社の関係であり資本関係が有ることから辞退した。 ・防災設備に関しては同様となる。 ・半々程度となっている。 ・3色灯は特注です。 <ul style="list-style-type: none"> ・高エネは、改修は製造会社、新築、全撤去改修は競争により行っている。茨城大学ではない。筑波大学既存の改修ではない。筑波技術大学では、修繕・メンテナンスについては他業者で行うことがある。 ・今回は制御系の改修であることから、他社が入った場合、製造会社のかし担保の関係から、責任を明確にしている。 ・契約の相手方より参考見積を取り直接工事費については参考見積りを審査し積算し、経費については国交省の基準により積算している。国交省の基準については公表されていることから近い金額が出てくる可能性は高いと思われる。 |
|--|--|

| | |
|--|---|
| <p>(6)随意契約</p> <p>【茨城大学 :工学部正門周辺環境整備実施設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量データは、日立市でなく契約業者が保有しているのか。 ・日立市では今回の環境整備範囲の補償はなかったのか。 <p>4. その他</p> <p>(1)指名停止等の措置状況について (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>(2)苦情処理会議への申立状況について (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>(3)平成29年度第1回茨城県内4機関公共工事入札監視委員会議事概要について (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>5. 講評 (堀越委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、抽出した案件については、適正に行われていると判断します。 <p>(小森委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターに関する随意契約の理由は定型的なものになっており毎回同じなので今後のテーマ(抽出)からはずしてはどうか ・防災設備の件については、説明によると | <ul style="list-style-type: none"> ・日立市も保有している。 ・譲渡部分のみの補償であった。 |
|--|---|

| | |
|---|--|
| <p>事実上3社になる。防災設備と電気通信設備の割合が半々であれば、競争を確保することが優先されることなので、それぞれに契約の可能な方法を検討していただきたい。</p> <p>(小又委員)</p> <p>正当な理由のもとに行われていると思う。入札に関しては、透明性をもって実施していただきたい。</p> | |
|---|--|